

**第 30 回 海老名カップ神奈川シニアソフトボール大会
代表者会議及び表彰式次第**

司会進行：海老名市ソフトボール協会

1. 代表者会議

日 時 令和 6 年 8 月 17 日 (土) 午前 10 時から (受付：9 時 30 分から)

会 場 海老名市文化会館 352/353

◇開式の言葉	市ソフトボール協会	理事長	安齋正之
◇返還授与	県シニアソフト連盟	会 長	廣瀬正春
◇優勝杯返還	2023 年度優勝		横浜マイティーズ
◇準優勝楯返還	2023 年度準優勝		横浜神泉クラブ
◇主催者あいさつ	県シニアソフト連盟	会 長	廣瀬正春
◇主管協会あいさつ	市ソフトボール協会	会 長	栗山明郎
◇抽選会	市ソフトボール協会	記録委員長	嶋 正俊
◇審判長諸注意	市ソフトボール協会	審判委員長	高橋啓介
◇閉式のことば	市ソフトボール協会	副理事長	多田 明

2. 表彰式

日 時 令和 6 年 9 月 8 日 (日) 決勝戦終了後 (12 時頃予定)

会 場 神奈川県立相模三川公園スポーツ広場

開 会	◇開式のことば	県シニア連盟	理事長	大谷照夫
	◇成績発表	市ソフトボール協会	記録委員長	嶋 正俊
	◇表 彰	県シニアソフト連盟	会 長	廣瀬正春
	◇審判長講評	市ソフトボール協会	審判委員長	高橋啓介
	◇主管協会あいさつ	市ソフトボール協会	会 長	栗山明郎
	◇閉式のあいさつ	市ソフトボール協会	副理事長	多田 明

第30回 海老名カップ神奈川シニアソフトボール大会開催要項

1. 開催趣旨

ソフトボールを通じて、積極的な仲間づくりを推進し、高齢者の健康増進・生涯スポーツ活動の推進を図るため。

2. 主催

神奈川県シニアソフトボール連盟

3. 主管

海老名市ソフトボール協会

4. 日程

令和6年9月1(日)・7日(土)・8(日) 表彰式12時頃(予定)

*予備日:9月14日(土)

5. 会場

神奈川県立相模三川公園スポーツ広場

6. 参加資格とチーム編成

神奈川県シニアソフトボール連盟に加盟しているチームで、令和6年9月1日時点で59歳以上の男子によって編成されたチームとする。(昭和40年9月1日以前生まれ)。登録人数は30名以内とする。

7. 参加申込期限および登録

参加希望チームは別紙(添付資料)で、令和6年7月27日(土)までに申込むこと。(当日までに必着のこと)。

大会申込書(選手名簿)の提出・追加・変更は代表者会議時までとし、その後の変更は認めない。

(海老名市ソフトボール協会ホームページよりダウンロード出来ます)

《申込先》

〒243-0416 海老名市中河内1392-23

海老名市ソフトボール協会 理事長 安齋 正之

TEL 046-238-1542 (携帯:080-1186-0518)

E-mail: anmasa1955@outlook.jp

8. 参加費

1チーム 13,000円(代表者会議当日に納付すること)

9. 代表者会議

令和6年8月17日(土)午前10時から 海老名市文化会館(352/353)

10. 競技方法

(1) 競技運営要領による。

(2) その他、2024(財)日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルールによる。

11. 参加者の保健上の留意事項

(1) あらかじめ健康診断を受けるなど、参加者自身の健康は各自で責任をもつこと。

(2) 大会当日及び直前の風邪などの病気になったときは、参加を見合わせること。

(3) 健康保険証・老人医療受給者証は、必ず持参すること。

(4) 参加者は自費でスポーツ傷害保険に加入すること。

(5) 主催者は応急手当以外の責任は負わないものとする。

12. 表彰

優勝、準優勝、第3位、敢闘賞(第4位)に賞状・賞品を授与する。

13. 荒天時の確認

当日朝6時以降に、市ソフトボール協会理事長 安齋 正之(携帯:080-1186-0518)、副理事長 高橋啓介(携帯:090-1887-3294)、へ確認してください。

競 技 運 営 要 領

1. 競技方法

- (1) 試合はトーナメント方式による7回戦とする。ただし70分を越えた場合は新しいイニングには入らないものとする。なお終了時点で同点の場合は、時間内タイブレークを採用する。(勝敗が決しない場合は抽選とする。)
- (2) 三位決定戦及び決勝戦は、7回戦とし、80分を越えて新しいイニングには入らないものとする。なお、終了時点で同点の場合は、時間内タイブレークを採用する。(勝敗が決しない場合は抽選とする。)
- (3) 3回15点・4回10点・5回以降7点差コールドゲーム制を採用する。

2. 試合方法

- (1) 投球距離は、13.11m、外野ネットは61mとする。
- (2) 金属製スパイク・セラミック製スパイクの使用は禁止とする。
- (3) 捕手は、ヘルメット・スロートガード付マスク(SGマーク付)・レガース・ボディプロテクターを着用する。
- (4) 打者・走者及びベースコーチはヘルメットを着用する。
- (5) 使用球は(財)日本ソフトボール協会検定ゴム3号球とする。

3. 競技上の注意事項

- (1) ファウルボールの処理について、バックネット裏は攻撃側が処理し、一塁側は一塁側のチームが、三塁側は三塁側のチームが処理すること。
- (2) 3回終了時点で次の試合のチームは、メンバー表を4部作成のうえ、各面の競技委員へ提出すること。第1試合のチームは、試合開始時間30分前までに提出すること。
なお試合開始時刻までに選手が揃わない場合は、棄権とみなす。
- (3) 組み合わせ番号の若いチームを一塁側とする。
- (4) フィールドイングは1チーム5分とし、後攻のチームより行う。ただし大会運営上フィールドイングを行わず試合に入る場合もある。
- (5) 監督またはそれに代わる指導者は、選手の体調不良(熱中症など)が予想された場合は、オフィシャルの回数制限に関係なく「タイム」を要求して試合の中断を申し出ることができる。ただし本規定を、作戦の一部として利用してはならない。
- (6) バックネット裏からの撮影は禁止。